

鍼灸で 健やかに！

20

登美ヶ丘治療院長

野口 創



下痢・過敏性腸症候群と 中国医学

下痢とは、便量が増加し、便が水様性になり、頻繁に排便することを指し、便がゆるくなる症状。下痢になると、しばしばガスを発生、腹部がいれん、便秘の切

迫、吐き気、嘔吐(おうと)を伴うことがある。

正常な便は60〜90%が水分。

下痢は主に水分が90%を超えた状態。便が消化管を速く通過し過ぎたり、便中にある物質が、大腸の水分吸収を妨げたり、大腸で水分が異常に分泌されたり

されにくい。
中国医学では、下痢のことを「泄瀉(せつしゃ)」と呼ぶ。
慢性下痢の治療は、漢方薬の下剤で治療する。一見矛盾したような反治法(通常とは反対の治療法)や、利尿作用の強い漢方薬で下痢を改善するといった場合もある。

下剤を用いるのは、宿便だけでなく、病原菌、毒素や壞死(えし)して脱落した腸粘膜などを一掃し、これにより中毒症状を緩和する。また利尿剤を用いるのは、腸内の過剰な水分を尿として排出させるためである。慢性の下痢症状の場合、さらに根本的な原因を分析し、3タイプに分けて治療する。

反治法で症状改善も

すると便に過剰な水分が含まれて下痢になる。

ウイルスや細菌感染、寄生虫感染症、服用薬、食事の内容、ストレス、化学物質、腫瘍(しゅよう)、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患などの慢性疾患、といったさまざま

な原因により下痢が起こる。

急性の下痢症状に対しては、西洋薬がよく効く。辛(つら)いのは慢性下痢症、過敏性腸症候群などで、症状が短期間で改善

①肝気鬱結型Ⅱストレスや精神緊張は、脾胃(消化器系)に影響し、全身の機能低下をもたらす下痢が起こる。

②脾胃虚弱型Ⅱ飲食の不摂生、過労などで、脾胃の機能が衰え、運化作用(食物の消化と吸収、栄養と水液の運搬)が失調し、下痢が起こる。

③腎陽虚型Ⅱ加齢などで腎が衰退すると、温煦(く)作用(身体を温める働き)が低下し、腎の氣化作用(尿を生成する働き)、脾の運化作用が障害されて下痢が起こる。

～慢性下痢～体質いろいろ



肝うつ型
ストレス緊張

脾胃虚弱型
働きすぎ
胃の不調

腎陽虚型
加齢
冷え性

はあ、今日も

冷えるわ

困